

2023年5月12日

各位

会社名 株式会社 ヤギ  
代表者名 代表取締役  
社長執行役員 八木 隆夫  
(コード 7460 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役常務執行役員  
管理本部長 山岡 一朗  
(TEL 06-6266-7332)

### 新中期経営計画 2026 「Heritage to the future」 策定に関するお知らせ

当社グループは、2023年3月期まで3ヵ年の中期経営計画「MAKE A DREAM, 1+∞」に取り組んでまいりましたが、新たに2026年3月期を最終年度とする「Heritage to the future」を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

当社グループの属する繊維・ファッション業界は、急激な少子高齢化、DX推進による事業構造の効率化や、SDGs達成へ向けた社会的価値への対応といった様々な舵取りに直面しております。さらに、ポストコロナやウクライナ侵攻による世界経済環境の変化に見られるように、従来の価値観が覆されるような状況に対して、攻めと守りのバランスを取りつつスピード感を伴った経営が重要であると考えております。このような状況認識の下、当社グループは、2026年3月期を最終年度とする中期経営計画「Heritage to the future」を新たに策定し、その取り組みを開始しました。

これまで130年間培ってきたヤギのDNAによってVISIONを実現させ、新たな未来へ紡いでいくことを基本方針に、持続的成長と企業価値向上につながる経営基盤の強化策を展開してまいります。

#### ■中期経営計画 2026 「Heritage to the future」の基本戦略（概要）

事業戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>● セグメントグループでの収益力強化</li><li>● ポートフォリオでの選択と集中</li></ul>
グローバル戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>● サステナブル・ブランド・デジタルの3つの視点でグローバル展開</li></ul>
グループ経営戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>● グループマネジメントの進化</li><li>● グループ内のDX基盤の構築</li></ul>
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>● グループ人材や組織制度の連携強化</li><li>● 人材活性化環境の整備</li></ul>
ESG戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>● CSV経営の実践</li><li>● コーポレートガバナンスの強化</li></ul>

基本戦略の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。


以上

# 中期経営計画2026

Medium-term Management Plan 2026

株式会社 **ヤギ**

2023.05.12



人と社会を結び付ける、ヤギへ。

株式会社ヤギの定める

## VISION

ヤギグループは人・地域・国を結びながら、マテリアルから  
アパレル、ブランド・ライフスタイルに至る繊維の可能性を  
イノベーションによって引き出していく

お客様の声に耳を傾け、社会と共有できる価値を  
見出すことにより人々の豊かで快適な生活に貢献し、  
社会とヤギグループの持続的成長を結実させていく

それを実現させるために仲間同士がたたえ合い、  
健康でイキイキと働く環境を構築する

<b>01-02</b>	<b>振り返り</b>
<b>03-06</b>	<b>中期経営計画2026の基本方針・戦略</b>
<b>07-11</b>	<b>事業戦略</b>
<b>12</b>	<b>グループ経営戦略</b>
<b>13</b>	<b>人材戦略</b>
<b>14-17</b>	<b>ESG戦略</b>
<b>18</b>	<b>株主還元方針</b>

- 事業ポートフォリオにより事業セグメントに分類した経営資源配分の方針を決定
- CSV経営の足掛かりとしてSDGsマテリアリティを特定



- 売上高は、世界的な新型コロナウイルスの影響下においても維持してきたが、2023年3月期にはコロナ前の売上と比較しても成長することができた。（旧基準に修正して比較）
- 経常利益は、売上原価・物流費の高騰に加え、為替の円安の影響を挽回するまでに至らなかったが、グループ全体の成長軌道に回復の兆しが見えてきた。

図1 | 連結売上高の推移（4Y）

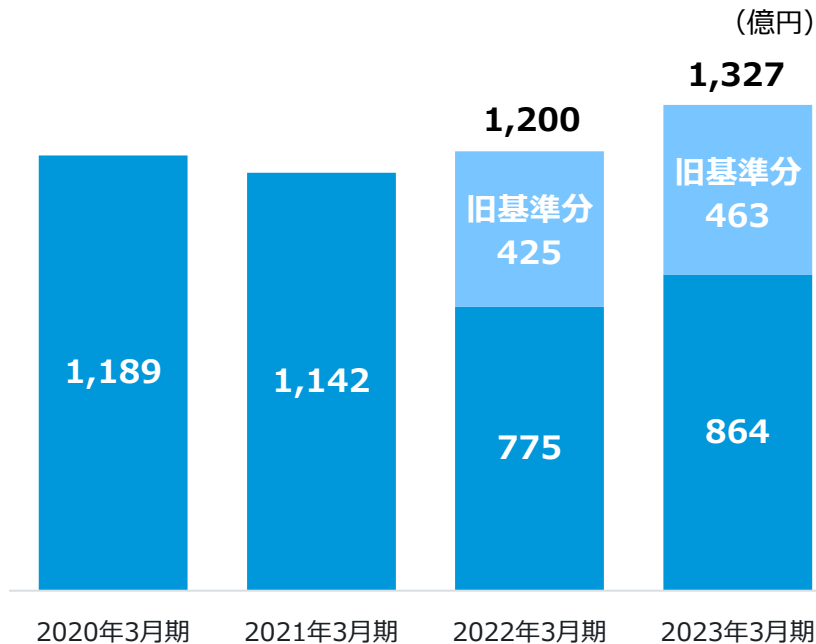
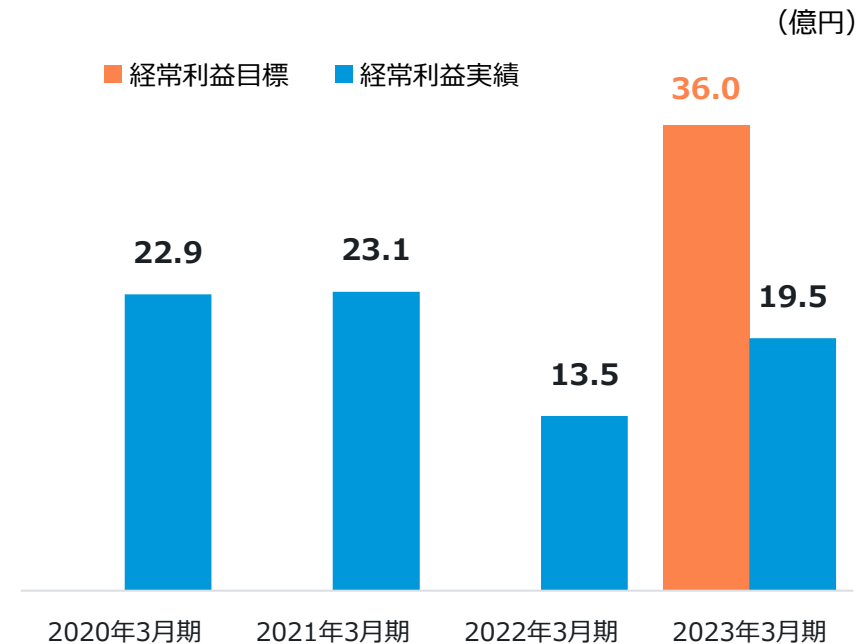


図2 | 連結経常利益の推移（4Y）



◆補足 | 2022年3月期より「収益認識基準に関する会計基準」等を適用していますが、過去との比較のため旧基準に置き替えて表示

# Heritage to the future

これまで130年間培ってきたヤギのDNAによって  
VISIONを実現させ、新たな未来へ紡いでいく

【基本方針】 これまで130年間培ってきたヤギのDNAによってVISIONを実現させ、  
新たな未来へ紡いでいく

不変の企業文化

経営理念

VISION

中期経営計画2026

社是

## 終始一誠意

新しい価値の創造とグローバルな挑戦を行い、  
人々の生活によるこびを与え豊かな社会に貢献していく

- ▶▶ 人・地域・国を結び、繊維の可能性を引き出していく
- ▶▶ お客様の声に耳を傾け、社会と共有できる価値によって社会とヤギグループの持続的成長を結実させていく
- ▶▶ 仲間同士がたたえ合い、健康でイキイキと働く環境を構築していく
- ▶▶ ヤギグループの持続的成長の基盤作り
- ▶▶ 基本方針を実現するための経営基盤の強化策



## ヤギグループの持続的成長の基盤作り

## 経営基盤の強化策

## 事業戦略

- セグメントグループでの収益力強化
- ポートフォリオでの選択と集中

## グローバル戦略

- サステナブル・ブランド・デジタルの3つの視点でグローバル展開

## グループ経営戦略

- グループマネジメントの進化
- グループ内のDX基盤の構築

## 人材戦略

- グループ人材や組織制度の連携強化
- 人材活性化環境の整備

## ESG戦略

- CSV経営の実践
- コーポレートガバナンスの強化

- 事業セグメントと連動した業績管理の強化による収益性の向上
- 成長・重点ビジネスへの効果的な投資による資産効率の向上

## 2026年3月期 連結財務指標

## 成長性

## 売上高

950億円

平均成長率  
3.0%

## 収益性

## 経常利益

32億円

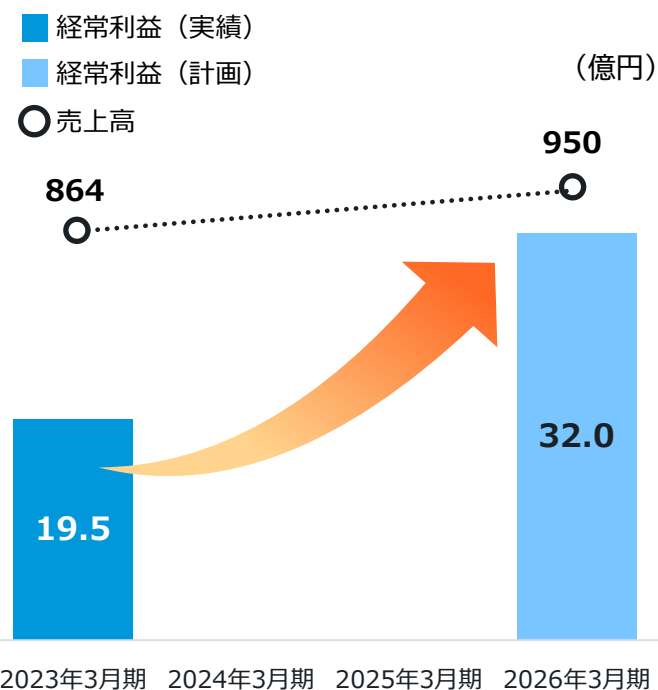
利益率 3.3%

## 効率性

## 資本効率

ROE 6.0%以上

## 中期計画目標(連結)



- 現行のセグメント体制であったマテリアル事業、アパレル事業、ブランド・ライフスタイル事業から市場・顧客ニーズの変化に対応するために4つのセグメント経営体制に改め、更なる収益性の向上と持続的成長を目指す
- グループ企業を横断した事業セグメントを、サステナブル・デジタル・グローバルの視点で強化

## 01. マテリアル

連結売上高 **345** 億円 成長率 **105%**

### グループ企業

- 株式会社ヴィオレッタ
- 山弥織物株式会社
- イチメン株式会社
- 八木香港有限公司

## 02. ライフスタイル

連結売上高 **110** 億円 成長率 **110%**

### グループ企業

- 日本パフ株式会社
- ツバメタオル株式会社

## 03. アパレル

連結売上高 **400** 億円 成長率 **109%**

### グループ企業

- YAGI VIETNAM COMPANY LIMITED

## 04. ブランド・リテール

連結売上高 **95** 億円 成長率 **112%**

### グループ企業

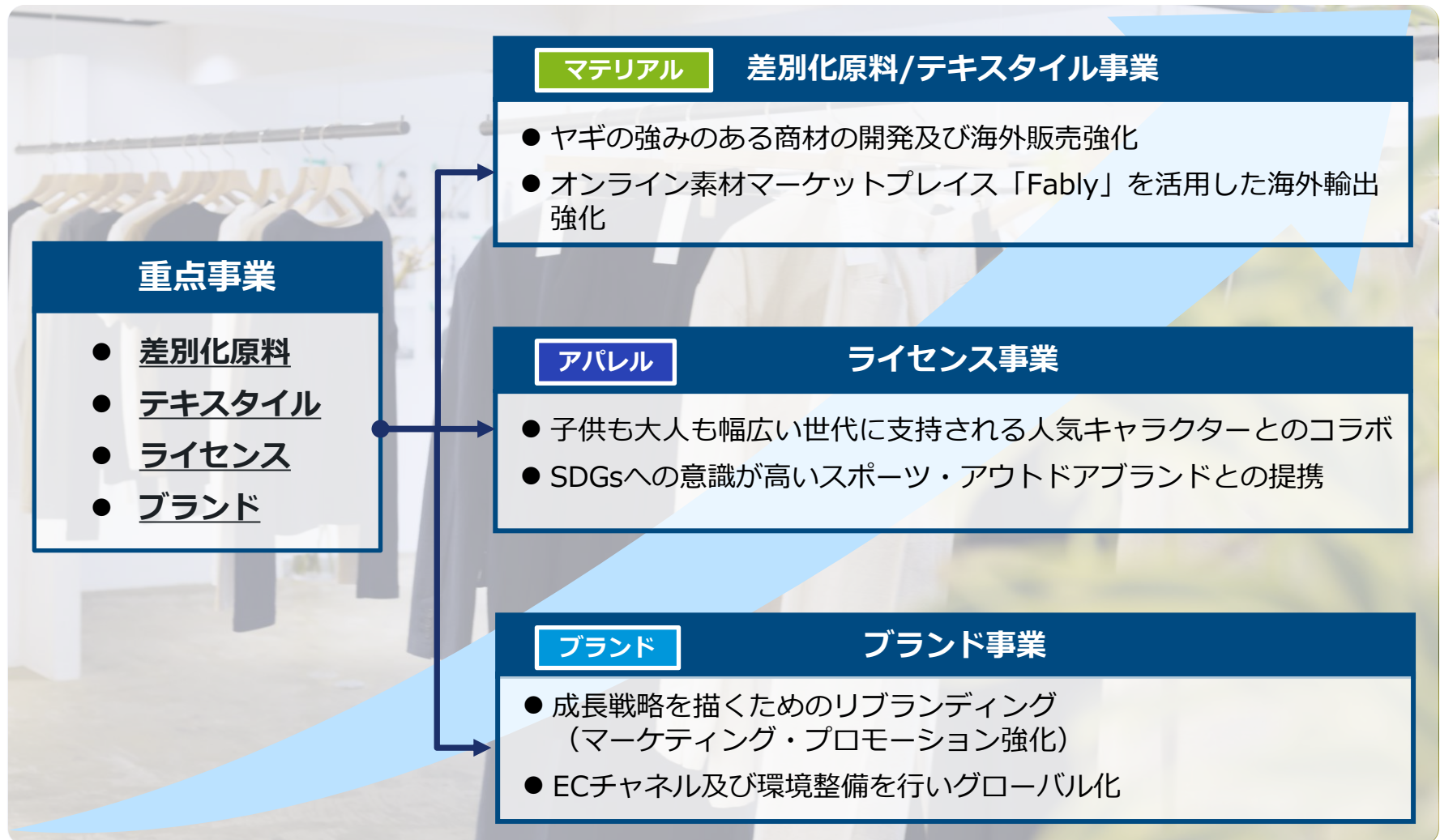
- TATRAS INTERNATIONAL株式会社
- 株式会社アタッチメント

サステナブル  
デジタル  
グローバル

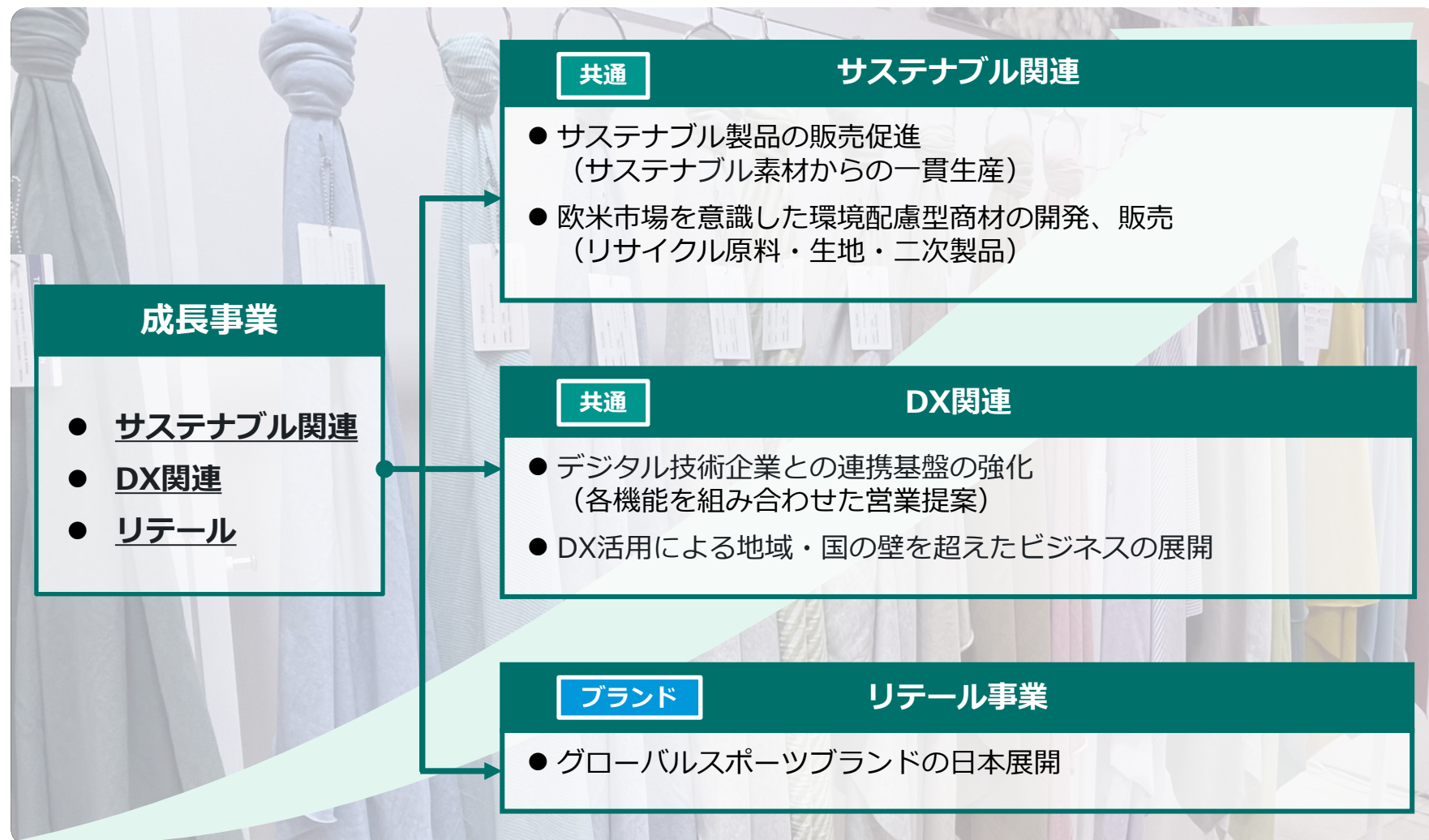
- 事業ポートフォリオを基に、事業の選択と集中を実行
- 成長市場に対して、ヤギの強みを活かした事業の強化



- マテリアル事業は強みであるサステナブル系素材の開発・販売の強化
- ブランド事業のブランディング強化、EC活用によるグローバル展開推進



- サステナブルな社会の実現に向けた価値の創出
- DXを活用した繊維産業におけるイノベーションの実現



- サステナブル、ブランド、デジタルの3つの視点からグローバルビジネス拡大にチャレンジ

## サステナブル

差別化原料やリサイクル原料の開発により、  
欧米を中心に展開強化

# グローバルビジネスの 拡大

## ブランド

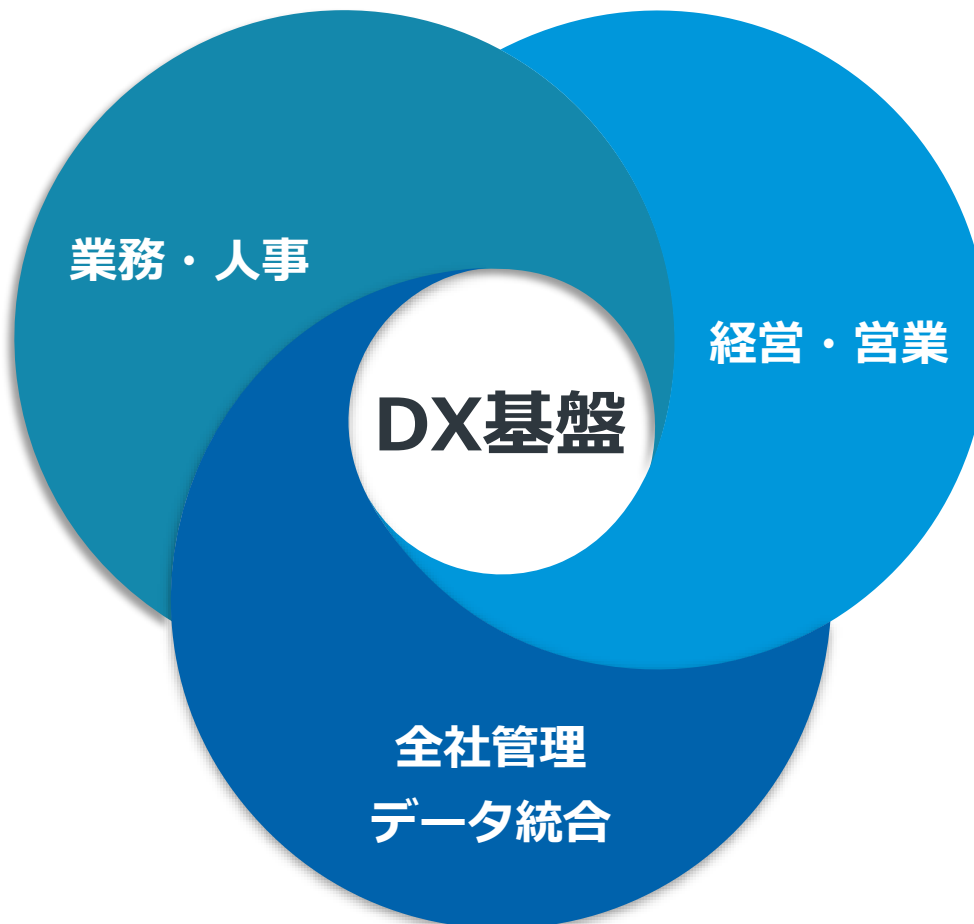
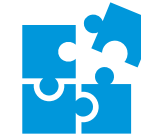
日本で実績のあるブランドを  
EU・アジアへと展開強化

## デジタル

デジタル技術を活用した取り組みを展開し、  
デジタルと繊維ビジネスの親和性を強化

- 業務オペレーションのDX推進による生産性の向上
- データ活用による意思決定スピードの向上

## グループ経営を進化させるDX基盤の構築



### 経営・営業

- 経営に活かすデータ基盤構築
- 営業効率アップのためのDX推進

### 業務・人事

- 生産性を向上させる業務DX推進
- 人材を活性化させるシステムの活用

### 全社管理・データ統合

- グループ内データの統合
- 業績管理のスピードアップ



- 人材の質と量の中長期的に維持・向上できる仕組みづくり
- 長期的な競争優位性を実現させる組織力のステップアップ

### チャレンジできる環境整備

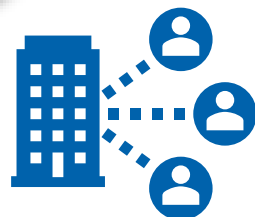
### 働きやすい環境整備

## 人材活性化環境

- 人事制度の刷新
- グループ横断での人材活用



- 健康経営の実践
- ダイバーシティ環境整備



- サステナブル事業を通じた活動を継続
- CSV経営の実現により環境問題に貢献

## サステナブルな社会実現へ貢献

### CSV経営の実践

自社と業界のDX

社会・地域との共創

#### ミッションステートメント



持続可能な企業  
であるための  
環境改善



持続可能な  
未来のために  
環境問題を解決



未来のライフ  
スタイルへの提案



企業の  
社会的責任

社会価値への取り組み

ESG領域	課題の目的	重要課題	SDGs目標
E	サーキュラー エコノミーの実現	① 持続可能な資源の有効活用	 
		② サーキュラーエコノミーの実現	
	イノベーションの創出	③ DXの推進	
		④ 新技術の研究/開発への投資	
S	ワークライフバランスの実現	⑤ 従業員のメンタルヘルスケア	 
		⑥ 長時間労働の是正	
	ダイバーシティ & インクルージョンの実現	⑦ 多様な働き方の推進	
		⑧ 人材の多様性の確保	
	女性の活躍推進	⑨ 女性の平等なリーダーシップの機会を確保	
⑩ 女性が働き続けられる労働環境の整備			
G	ガバナンスの強化	⑪ サプライチェーンマネジメントの推進	

● 優先課題 ● 環境 ● 社会 ● ガバナンス

- 当社独自の「YARN PROJECT&SEED PROJECT」への取り組み継続
- オーガニックコットンの流通によるサステナブルな社会への貢献

## 当社独自の取り組みによるサステナブルな社会実現に貢献

### Material マテリアル

優れた機能性や環境配慮型の原料・素材

### Textile テキスタイル

国際認証に基づき  
エシカル・サステナビリティを考慮した商品

### Product プロダクト

機能や環境配慮に特化した製品展開  
ODM・OEMにも対応

### Project/Platform プロジェクト/プラットフォーム

パートナーと共に社会貢献する仕組み  
繊維業界をテクノロジーでつなぐ仕組み



- DX推進による業界のサプライチェーンの効率化を目指した出資先との連携
- 3D技術の活用による生地を選択からサンプル、生産管理に至るまでのDXをリードすることによる、繊維業界の環境負荷低減への貢献



- コーポレートガバナンスの強化により、ヤギグループとしての企業価値向上を目指す
- 社是「終始一誠意」ならびにVISIONを基本としたコンプライアンスの徹底

## 企業価値の向上

### コーポレート ガバナンス

グループ企業への監査機能の強化

リスクマネジメントの強化

### コンプライアンス

社是・VISIONと一致した行動

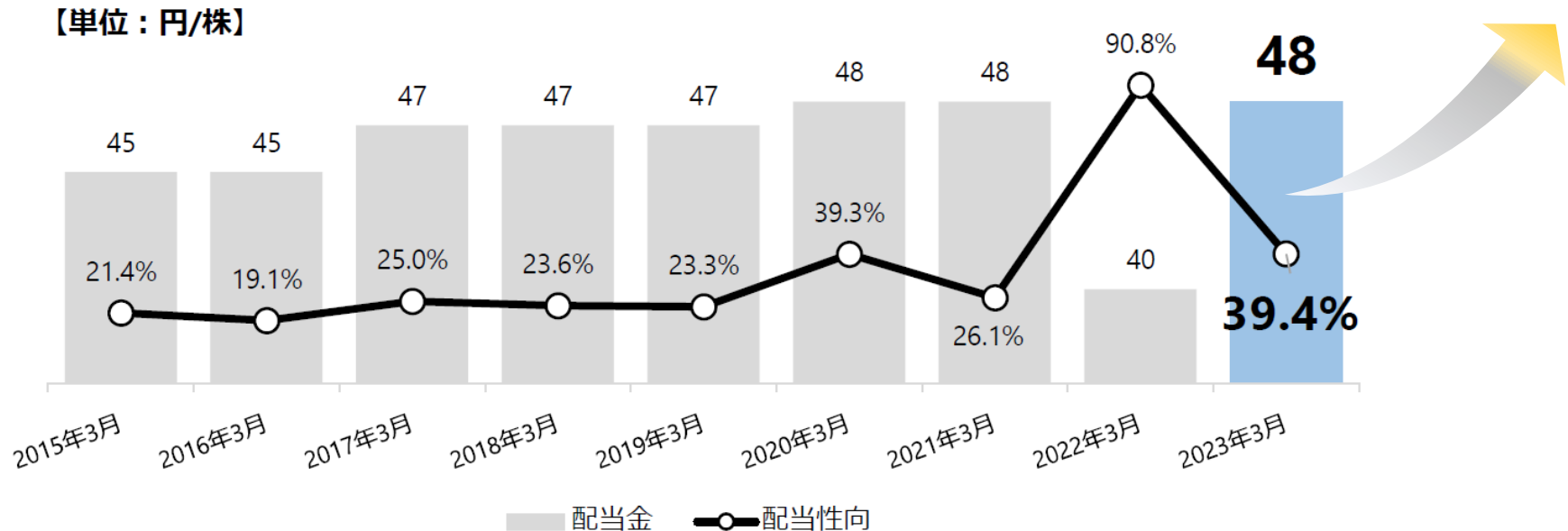
法令順守の徹底

- 株主の皆様への利益還元を、経営の最重要政策のひとつとして位置付けております。
- 配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保充実をバランスよく行っていくことを基本方針としております。

## 配当金の推移

中期経営計画2026  
配当最終年度目標

配当金50円以上



# =YAGI=

## Heritage to the future

本資料は、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に掲載された将来の予測等は、発表の時点で入手可能な情報に基づいたものであり、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。

従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことをお控えくださいますようお願いいたします。  
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。